

すべては夜から生まれる (2002)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 79分
初公開日 2003/01/25
公開情報 スローラーナー

【キャッチコピー】

――彼らは、夜の底で、軋み、そして、朝にむかって崩れ落ちる。

【解説】

日常の倦怠感に身を任せて生きる2組の男女が交差し、やがて崩壊へと向かうさまを描いたドラマ。監督は本作が長篇劇場映画デビューとなる甲斐田祐輔。前作の中編「R A F T」では美しいモノクロ映像をみせた甲斐田監督が初めてのカラー作品でどこまでもストイックな映像表現を追求する。主演は「ニンゲン合格」「Dolls」の西島秀俊。

売れない俳優の山形は恋人の優子と同棲していた。彼女にはいつも仕事に行くとき嘘をつき、競馬やカフェで時間を潰す。ある夜、彼はカフェで上原という画家の男と出会った。上原には綾という恋人がいて、彼が自宅で絵を描いている間は部屋を追い出され、このカフェで時間を潰している。そして彼が絵を描き終われば彼女を迎えに行く毎日だった。ある日、酔った上原は山形を自分の部屋に誘う。山形はそこで綾と出会う。視線を交わす2人。次の夜、山形はふとしたはずみでカフェにいる綾をそこから連れ出す。繰り返される日常から逃れたい一心で…。

【クレジット】

監督 甲斐田祐輔
脚本 木田真
撮影 星野有樹
美術 井出里美
編集 甲斐田祐輔
音楽 渡邊琢磨
録音 満田亮
出演 西島秀俊 山形
甲田益也子 優子
水沢螢 綾
川口潤 上原
青崎寿幸 髭の男
半野喜弘 仕事仲間の男